

1 教育・研究目的

大学の教育研究上の目的に関すること

■和歌山大学の目的及び使命

国立大学法人和歌山大学が設置する和歌山大学は、学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成することを使命とする。(和歌山大学学則第1章第1条)

■大学の基本的な目標（中期目標前文）

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを宣言する。

その実現のため、3つの基本目標を掲げる。

1. 和歌山大学は、現代の学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てる。
2. 和歌山大学は、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与する。
3. 和歌山大学は、教員の多様な問題関心に基づく諸活動を尊重し、職員の主体的な職務遂行を支援、学生が高度な理論と実践力を修得するとともに「学生満足」が充足される大学生活を送ることができるよう支援を強化する。また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指す。



■和歌山大学 2011～2013 行動宣言

国立大学法人和歌山大学は、2010年4月より第2期の中期目標・中期計画に基づいて教育、研究、大学経営を展開しています。しかし中期目標・中期計画の各項目を達成すれば、どのような大学となるのか、どのように社会への貢献ができるのかのイメージは、必ずしも鮮明には伝わりません。

私たちは、大学内部の学生・大学院生、教職員に対しても、学外の地域・社会に対しても、いかなるゴールに向けて活動しているのかを、より鮮明に伝えることが必要だと考えます。

このため、第2期の中期目標・中期計画の諸課題を凝縮させ、2013年3月までに和歌山大学が達成を目指す、7つの重点課題を設定しました。

今後は、この7つの課題の実現を強く意識しつつ、全構成員の参画と協働で第2期中期目標・中期計画の諸課題を総合的に実現するべく大学経営を遂行します。

時代と社会が求める深い教養と、他者とともに問題解決に取り組むことのできる実践力をもつ人間を育てます

- 1 和歌山大学は、学生が子ども期から青年期に至る学習体験、生活体験等から生ずる人間形成上の諸課題をかかえていることを認識し、専門家になるための教育（専門教育 the art of being a professional）と同時に、人間になるための教育（教養教育 the art of being a human）が不可欠であると考え、この観点から本学における教育を編成します。
- 2 和歌山大学は、学生の現状と、時代と社会が求める人間像を踏まえ、教養教育の内容を編成し、また常に改善する努力を重ねていきます。
- 3 和歌山大学は、教養教育の実施に責任を持って当たる組織を確立し、教員の自主性を尊重し多様性を生かしながら、「人間になるための教育」に向けて協働の実践を行います。
- 4 和歌山大学は、教養教育の一環として学生の異文化・異世界体験学習プログラムを整えます。

学生の学習、研究を支援する図書館を目指します

- 1 和歌山大学は、約70万冊という蔵書を持ち施設的にも優れた附属図書館を有しています。図書館は、学生が生涯にわたって自主的に学び続ける方法を習得し、豊かな学びに裏打ちされた人生を送ることができるように積極的に支援します。
- 2 和歌山大学は、図書館が誰もが集う智への誘いの場として、あらゆるジャンルの豊かな学びに繋がる場となることを目指します。
- 3 和歌山大学は、図書館の職員の体制を整備すると同時に専門的能力の向上を図り、学生・教職員はもちろん全ての利用者の方々の多様な関心に応えられるレファレンスを重視した図書館運営に努めます。
- 4 和歌山大学は、図書館が、学生の知的文化的交流の拠点にふさわしい施設整備と魅力あふれる多様な企画を実施するよう努めます。

和歌山の地域と世界にとって不可欠な農・林にかかわる地域創造支援事業に取り組みます

- 1 和歌山大学は、「地域を支え、地域に支えられる」大学として、地域連携・生涯学習、産学公連携を地域創造支援として統合し、地方国立大学モデルを構築します。
- 2 和歌山という地域の最も重要な財産である農業や林業および食、健康、環境にかかわる事業の発展に寄与する研究プロジェクトに着手します。

中学生・高校生が憧れと入学への希望をもてる大学にします

- 1 和歌山大学は、小学生、中学生、高校生たちに学ぶことの楽しさを伝え、憧れの対象となる大学であることを目指します。
- 2 和歌山大学は、高校までの段階的教育機関等や保護者との連携を深め、子ども期から青年期に至る過程において人間形成に必要な学習体験、生活体験等について研究と協議を重ねます。このことにより、子ども期からの育ちや教育のあり方の改善に貢献します。
- 3 和歌山大学は、経済的理由から進学に躊躇する児童・生徒が、大学進学に希望や意欲がもてる支援プランを開発します。

同窓会等と連携し学生・卒業生の生涯を支援します

- 1 和歌山大学は、1949年からはじまる新制大学以前からの歴史のなかで、輩出された有為な人材、母校への高い誇りを持つ卒業生・同窓会とともに、真の「就業力」形成に取り組み、学生が人生の自己決定ができるよう支援します。
- 2 和歌山大学は、自校の伝統を掘り起こし、自校史学習プログラムを編成して教育課程に組み込むことにより、自校への誇りを醸成します。
- 3 和歌山大学は、シニア卒業生、若手卒業生、現役学生の交流を促進し、同窓会・後援会の強化を支援します。
- 4 和歌山大学は、卒業後、社会の変動の中で、学び直しや進路・職業の変更を必要とする卒業生を、同窓会等とも協力し生涯支援する仕組みを作ります。

大学構成員のやる気を高め、持続的に自己改革する組織をつくります

- 1 和歌山大学を、学びを求める学生・大学院生、真理・真実を究めることを求める教員、学びと研究の支援を生き甲斐とする職員などの真の「コミュニティ」にします。
- 2 和歌山大学人は、私たちの大学という組織、職場、仕事そのものを研究の対象とし、英知を結集して絶えざるイノベーションを実施します。
- 3 和歌山大学は、全学的ビジョンとミッションの観点から、学部、大学院等教育組織、センター等共同教育研究組織、事務系組織を点検し、今日の大学改革の動向にも学び、改革を進めます。

次の時代の大学経営を担う人材を養成します

- 1 和歌山大学は、時代と社会に応える大学経営のあり方、望ましい大学経営者のガバナンスについて理論と実践を深めます。
- 2 和歌山大学は、大学内外から信頼される大学経営者層を、学内構成員による自主研鑽と切磋琢磨を通じて形成するよう努力します。
- 3 和歌山大学は、近い将来に大学法人経営に役員等として参画できる職員を生み出すこと、あわせて男女共同参画の実現を目指し、リーダーシップを発揮する女性職員を養成することができるよう研修等の条件整備を行います。